

自分の将来の生き方を考える 7/10~7/11 —中学生職場体験学習—

飯館中学校(遠藤隆徳校長)の全校生徒が、村内外の公共施設や事業所、農家などで2日間の職場体験学習を行いました。

この職場体験学習は、働くことの大切さや苦勞について理解を深め、自分が住む地域に愛着を持つことを目的に、同校が総合学習の一つとして毎年実施しています。今年も、生徒たちが農家をはじめ公共施設や商店、村内外の企業や福祉施設など40カ所以上に分かれて、それぞれ仕事を体験しました。このうち「やまゆり保育所」で園児のお世話を体験した2年生の松下結衣さんと佐藤愛理さんは、「園児と言葉がうまく通じず大変でした。また、子どもには臨機応変に対応しなければならないことが分かりました」と感想を話していました。



▲園児の話し相手をする生徒



▲園児と散歩をする生徒

7/18 —体験学習発表会—

同校体育館で、授業参観を兼ねた「職場体験学習発表会」が行われ、生徒たちが保護者らの前で職場体験の内容や感想などを発表しました。

発表はグループ毎に行われ、生徒たちは写真やイラストを使って説明したり、発表者が仮装や寸劇をしたりと、その発表方法はさまざま。各グループとも、発表が終わるたびに、聞いていた保護者や先生・生徒たちから大きな拍手を受けていました。



▲保護者の前で学習の発表をする生徒たち

震災対策一口標語

**いつも用心
地震の不意打ちに 備える心**

火災・救急情報

6月の出動 火災 0件(1月からの累計 5件)
救急25件(1月からの累計134件)

ご寄付ありがとう (7月25日現在)

○飯館村社会福祉協議会
▶ 川井 吉夫さん(二枚橋)から金100,000円

「日独スポーツ少年団同時交流」で、村に訪れたドイツ団員たちが流しそうめんを体験した時「ユニークな食べ方ですが、この方が美味しいのですか」と聞かれ、答えられる人はいませんでした。▽詳しい理由は分かりませんが、おそらく涼しさを感じられる食べ方ということでしょう。▽その他にもお茶やそば打ち、餅つきなど、ドイツ団員たちは日本文化を存分に堪能したようです。▽「まてい」マーク入り帽子を持ち帰った団員たち。このマークや「まてい」を地元でどう説明し、どのように広がっていくのか楽しみです。

あとがき